

2023年度(第8回) 助成支給対象者

2024年6月1日現在

No.	氏名	所属研究機関・職名	テーマ
1	アイダ ヤスヒロ 相田 康洋	日本大学 助教	厳島神社社殿に見る海上立地のための計画的・技術的・構法的な対応策に関する調査研究
2	アライ シゲユキ 新井 重行	東京大学 史料編纂所 准教授	江戸時代後期の大工組織の業務復元に関する基礎的研究
3	イマモト ケイイチ 今本 啓一	東京理科大学 教授	蟻害劣化を受けた木材の非破壊損傷評価と補修・補強工法の開発
4	ウノ トモコ 宇野 朋子	武庫川女子大学 准教授	大津壁表面の塩類風化の要因の解明
5	ウノ サトシ 海野 聡	東京大学大学院 准教授	「中井家文書」にみる寛政度と安政度の御所造営と継承理念
6	エンケホルワ	八戸工業高等専門学校 助教	清水寺観音堂のデジタル保存と耐震性能評価への統合的アプローチに関する研究
7	オオノ サトシ 大野 敏	横浜国立大学大学院 教授	地域および博物館と連携した歴史的建造物の魅力や価値の周知手法に関する実践的研究
8	キタノ ノブヒコ 北野 信彦	龍谷大学 教授	社寺文化財建造物における装飾木彫の調査と保存・修復・資料活用に関する研究
9	コレサワ ノリコ 是澤 紀子	日本女子大学 教授	摺拓本資料に基づく大工彫刻の記録と再生
10	サカイ テイスケ 坂井 禎介	奈良女子大学 専任講師	住宅系建築の意匠の研究—寺院方丈を中心として、建築史、美術史の横断的視点で—
11	シライ ユウキ 白井 佑樹	神奈川大学 助教	【継続】 小樽型歴史的木骨石造建造物の耐震調査
12	スダ タツル 須田 達	金沢工業大学 教授	伝統構法を活かした瓦葺き多段棟の耐震性能評価法の開発
13	ナカオ マサト 中尾 方人	横浜国立大学 特別研究教員	社寺建築物における仕口のモーメント抵抗機構モデルおよび計算式の開発
14	ニシカワ エイスケ 西川 英佑	関西大学 助教	災害後の修理による伝統的木造建築の構造健全性の回復に関する研究
15	ノムラ ナオキ 野村 直樹	崇城大学 助教	旧海軍建築をモデルとした鉄骨柱脚部の構造性能に関する実験的研究
16	フジイ ヨシヒサ 藤井 義久	東京文化財研究所 客員研究員	鳥居など伝統的な木造外構の生物劣化の非破壊診断技術の確立
17	マルティネス・アレハンドロ	京都工芸繊維大学 助教	木造建築遺産におけるオーセンティシティに関する研究
18	ミツジ カズヤ 三辻 和弥	山形大学大学院 教授	観測記録に基づく伝統的木造多層塔の振動特性における相輪の制振効果の検討
19	ヤマナカ ミノル 山中 稔	香川大学 教授	文化財石垣耐震基礎診断で用いる累積示力線法への伝統的の石垣築造技術の導入による石垣耐震性の再評価
20	ワダ カズノスケ 和田 一之輔	奈良文化財研究所 考古第一研究室長	国宝法隆寺五重塔の鉄釘にみる形態変化と規格の選択と変遷にかんする通史的研究

※50音順

※原則、所属研究機関・職名は申込時を記載